

平成30年度 オリンピック・パラリンピック教育に関する指導全体計画

法令等
 オリンピック憲章（5つの教育的価値）
 ・努力する喜び
 ・フェアプレイ
 ・他者への尊重
 ・卓越さの追求
 ・身体、意思、心の調和
 学習指導要領
 東京都教育委員会の目標や取組
 小笠原村教育委員会の目標や取組
 等

学校教育の目標
 人間尊重の精神に富み、郷土を愛するとともに、国際社会において信頼されるための豊かな見識と広い視野を持ち、国際社会や地域社会に貢献することのできる人材育成を目指す。
 また、「紳士たれ、淑女たれ」を校訓として掲げ、その精神を養う。
 ○よく学び、考え、行動できる人
 ○やさしくたくましい人
 ○社会の一員として貢献できる人

生徒の実態
 ・明るく活発である。地域の行事に積極的に参加する。基礎学力の定着が課題である。
教師の思い
 ・主体的に学習、活動できる生徒。
 ・礼儀を重んじ、意志の強い生徒。
地域住民の願い
 ・基礎学力の向上。
 ・地域を愛し、健康で豊かな心で伝統を継承してほしい。

オリンピックパラリンピック教育に関する重点目標
 ・オリンピックパラリンピックの歴史や意義を学ぶことを通し、平和なより良い社会の構築を目指す態度の育成を図る。
 ・国際教育の充実を図り、我が国の良さを学ぶことを通して、豊かな心の育成を推進する。
 ・運動やスポーツの魅力を学び、実践することを通して、健やかな体の育成を充実する。

オリンピックパラリンピック教育に関する指導計画
 ・人を大切に思いやりの心と平和な社会を築こうとする態度を養うため、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などについて発達の段階に応じた指導を充実する。
 ・様々な国の文化や習慣の良さを知るとともに、日本文化の良さを見直し、日本に誇りが持てる生徒を育成するためにオリンピック・パラリンピックに参加した国や地域の文化や歴史等を取り入れた学習を推進する。
 ・健康・体力増進に向けた日常的な実践を推進し、障害のある人や関係者との交流を通して思いやりの心・豊かな心の育成を図るために、アスリートとの交流などを通して、運動やスポーツに対する興味を高める。
 ・東京2020オリンピック・パラリンピック学習ノートの活用。（教科横断型の活用）

各教科	
国語	自国の作品や言語を学び、郷土の伝統や文化についての理解を深め、尊重する態度を養う。
社会	世界のさまざまな地域または国の調査を通して、世界の地理的認識を深めさせる。
数学	陸上のトラックにおけるセパレートコースの距離の算出をしたり、過去の統計データを整理・活用し、オリンピックへの関心を高める。
理科	物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解させるとともに、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養う。
音楽	アジアや諸民族の音楽・世界の音楽・日本の伝統的な音楽を通して、それぞれに国に伝わる音楽ができた背景を学ぶとともに、それぞれのよさを感じ取るようとする態度を養う。
美術	日本の美術・伝統・文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術・文化の相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める。
体育・保健	陸上競技やアスリートを通してオリンピック・パラリンピックの歴史や競技に触れ成り立ちについて学習する。また、年間を通して裸足活動を取り入れ、基礎体力の向上を目指す。
技術・家庭	①IT・放送技術のオリンピック・パラリンピック普及への貢献。 ②日本のものづくり技術と競技用品 ③セキュリティ、防災対策、環境マネジメント 住生活分野においてバリアフリー、ユニバーサルデザインの学習を通して身体障害を持った人の暮らしを考えパラリンピックへの興味を深める。
外国語	様々な国の言語や文化について理解を深めるとともに、外国語を通して積極的にコミュニケーションを図る態度とコミュニケーション能力の基礎を養う。

道徳
 ○世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って世界平和や伝統の継承に努めようとする心情を育てる。
 ○礼儀・作法や「おもてなしの心」の意義の理解。

総合的な学習の時間
 ○世界自然遺産である郷土小笠原の自然・歴史・文化について学ぶとともに、学びあう能力のスキルを身に付け、他国の自然・歴史・文化についても理解を深める

特別活動
 ○個性の伸長を図り、自主的・実践的な態度を育て、集団の一員としてより良い集団を創り上げるため、自主的に活動する場に参画し、協力し諸問題の課題解決しようとする態度や生活態度を育てる。

英会話
 ○進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、自己紹介や自国紹介、道案内ができる表現の技能を身に付ける。
 日本の文化を紹介したり、諸外国の文化について疑問を持ち質問できる力を育てる。

家庭・地域社会との連携
 ○アスリート等によるスポーツ教室(社会体育との連携)。
 ○地域行事、スポーツ大会などへの参加やボランティア活動の推進

校種間の連携
 ○小・中・高連合運動会や父母交流会(学習、水泳記録会)などの実施。
 ○高等学校保健体育科による競泳指導(専門技能:グスタイヤー)との連携。

平成30年度 オリンピック・パラリンピック教育に関する指導年間計画

小笠原村立小笠原中学校

月	行 事	各教科授業	道徳授業	総合的な学習	特別活動・他
4					
5		スポーツテスト 外国人にインタビュー (英語) 剣道(保健体育)		修学旅行(3年)	
6	ふれあい月間 生活アンケート	水泳(保健体育)	国際貢献(C-(18))		
7		運動とエネルギー (理科)	我が国の伝統と文化の尊重(C-(17))		遠泳大会 父母交流会
9		ダンス(保健体育)	国際理解(C-(18))		連合運動会
10					
11	ふれあい月間 生活アンケート				
12		陸上競技(保健体育)		自己理解(1年)	
1		陸上競技(保健体育)	克己と強い意志 (A-(4))		ロードレース大会
2	ふれあい月間 生活アンケート		郷土の伝統と文化の尊重(C-(17)) 道徳授業地区公開講座		
3			国を愛する態度 (C-(18))		フットサル教室